

KENWOOD

デュアルサイズMD/CDレシーバー

DPX-770MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンス
ングコーポレーションの米国および外国特許に基づく
許諾製品です。

CONTENTS

●安全上のご注意	3
●使用上のご注意	8
●操作のしかた	
ALL MODE 〈共通操作〉	12
 TUNER MODE 〈ラジオを聴く〉	18
 MD/CD MODE 〈MDやCDプレイを楽しむ〉	22
 DISC CHANGER MODE 〈ディスクチェンジャーを操作する〉	28
 DSP MODE 〈音響効果を楽しむ〉	34
 EQUALIZER MODE 〈音質を調整する〉	38
 REMOTE CONTROL MODE 〈リモコンで操作する〉	42
●接続のしかた	46
●取り付けかた	48
●故障かな?と思ったら	49
●保証とアフターサービス	52
●仕様一覧	53

本取扱説明書の表示は説明用に作成したものです。実際とは異なることがあります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

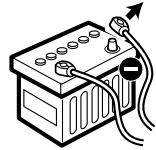
警告



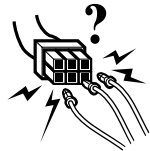
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



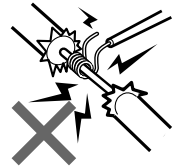
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



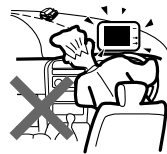
本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用品をご使用ください。取付用品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



警告



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



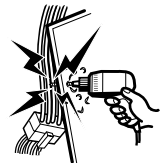
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

警告



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実施



運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

実施

●各種設定や調整



運転者は文字情報などに気を取られないでください。前方不注意による交通事故の原因になります。

注意



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

禁止



万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

実施



乾電池をショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。発熱、破裂の原因となります。

禁止



製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

禁止



修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

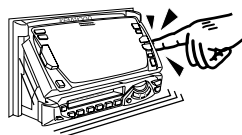
実施

⚠ 注意



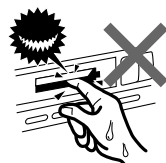
禁止

ディスプレイ部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれて怪我をすることがあります。



禁止

ディスク挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。



実施

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。



禁止

ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをするおそれがあります。



注意

本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



禁止

リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、乾電池の使い方を間違えますと液漏れや破裂のおそれがあり、製品の故障や怪我などの原因となりますので、以下のことを必ず守ってください。

- 乾電池は充電しないでください、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池の交換の際は極性（ \oplus ）（ \ominus ）を正しく合わせてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、他の種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った乾電池はすぐに製品から取り出してください。
- 乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

ディスクチェンジャーの接続について

KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C210, KDC-C206のO-Nスイッチを“N”に設定してください。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50, KDC-C55のいずれかを接続するときは、別売品の“CA-DS100”が必要です。

また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の“CA-KD20”が必要です。

CD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S200”を使用するとディスクチェンジャーを2台コントロールすることができます。接続等詳しい説明はKCA-S200付属の取扱説明書をご覧ください。

なお、KCA-S200を使用してKDC-C210, KDC-C206を接続する場合は、CDチェンジャーのO-Nスイッチを“O”に設定してください。(CDテキスト機能は使用できなくなります。)

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると故障や破損の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能が異なる場合があります。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

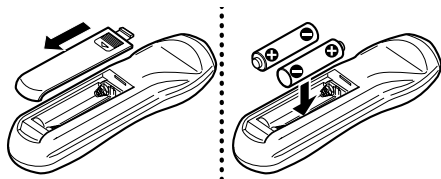
温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなったり、音量が下がって少し歪んだ音になります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、正常な状態に戻ります。もし正常に動作しないときは本機のリセットボタンを押してください。

リモコンの電池について

付属の乾電池(単四型2本)を⊕⊖の向きを正しく合わせて入れてください。

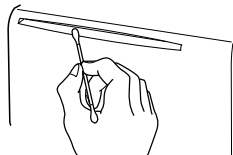
操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。



セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

CD挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。ホコリがたまった状態でCDを挿入するとCDにキズが付くことがあります。



結露について

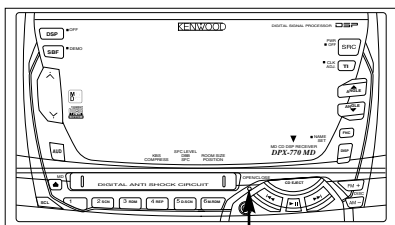
寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露(水滴)がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなることがあります。このような場合は、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。

DSP効果を得るために

DSP効果を得るために本機は前後4スピーカー以上のシステムでご使用ください。

セットの異常にお気づきのときは

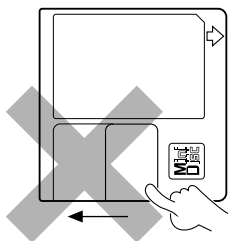
万一、セットの異常にお気づきのときは、まずペン先などで本機のリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。



リセットボタン

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっていています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分に指が触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



ラベルのはがれかかったMDは

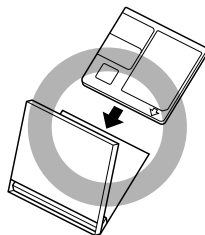
ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。

データ用のMDについて

データ用のMDは"Error12"と表示され使用できません。音楽用のMDを使用してください。

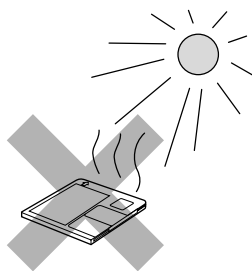
MDの保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因になります。

MDのお手入れ

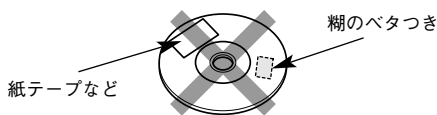
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。

（お手入れの際、シャッターを開かないようご注意ください。）

使用上のご注意

使用できないCD


記録面や、ラベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレイヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

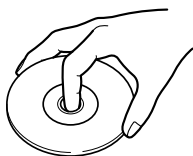


記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

 マークの付いているCD以外は使用しないでください。

CDの取扱について

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。



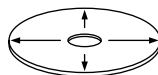
CDの保存

直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

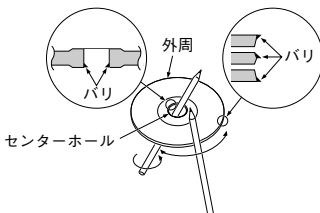
CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外周に向かって軽くふきとってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音とびの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CD用アクセサリについて

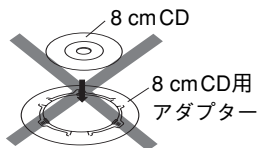
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

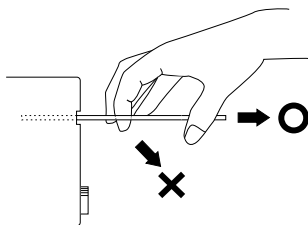
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



強制イジェクト

本機の誤動作などによりMDやCDがイジェクトできなくなった場合、下記の操作をし強制イジェクトを行ってください。

CDの場合

CD EJECTボタンを3秒以上押します。

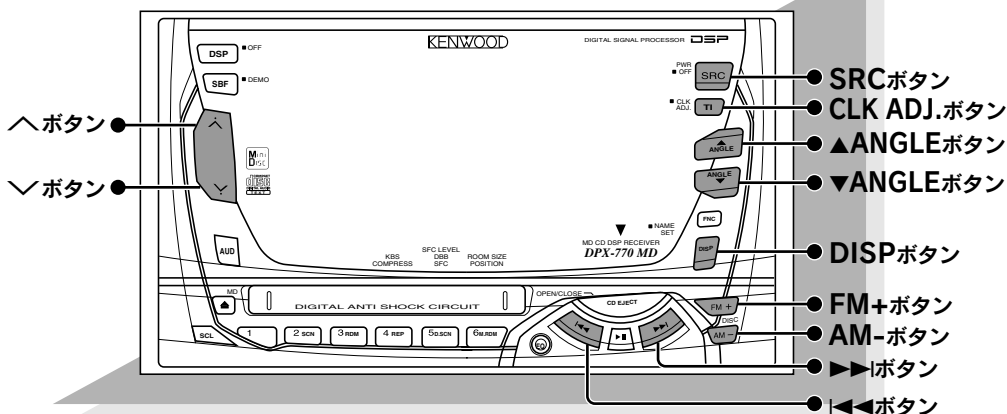
MDの場合

▲MDボタンを3秒以上押します。

強制イジェクトおよびリセットを行ってもMDやCDを取り出せない場合は、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。

ALL MODE

ALL MODE



電源オン - 電源を入れる -

SRCボタンを押すと電源がオンになります。

❖ MEMO ❖

前に電源をオフしたときのソースモードになります。

電源オフ - 電源を切る -

SRCボタンを1秒以上押すと電源がオフになります。

ボリューム - 音量を調整する -

↑ボタンを押すごとに音量が大きくなります。

↓ボタンを押すごとに音量が小さくなります。

Volume 35

(調整範囲 00 ~ 35)

ソースモード選択 - 聴きたいソースに切り替える -

SRCボタンを押すごとにソースモードが下記の順に表示されます。

「TUNER」(TUNER MODE: FM/AM放送を聴くモード)

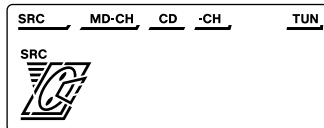
「MD」(MD MODE: MD演奏を聴くモード)

「CD」(CD MODE: CD演奏を聴くモード)

「DISC-CH」または「CD-CH」(DISC CHANGER MODE: ディスクチェンジャー演奏を聴くモード) ※ディスクチェンジャー接続時

「ALL OFF」(電源オンのまま機能を一時的に停止させるモード)

選択したソースモードはインジケータで確認できます。



❖ MEMO ❖

- MDやCDが入っていないときは、「MD」や「CD」には切り替わりません。
- ディスクチェンジャーが接続されていないときは、「DISC-CH」または「CD-CH」には切り替わりません。
- CDチェンジャー-KDC-C210/C206のO-Nスイッチを“N”にして接続しているときは、「CD-CH」と表示されます。
- ディスクチェンジャーを2台接続している場合は「DISC-CH1」⇒「DISC-CH2」と切り替わります。

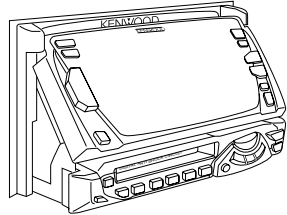
パネルアングル調整 –見やすい角度に調整する–

● パネルをスライドさせる

▼ANGLEボタンを押すごとに操作パネルが1ステップずつスライドします。押し続けると連続してスライドします。

● パネルを閉める

▲ANGLEボタンを押すごとに操作パネルが1ステップずつ閉まります。押し続けると連続して閉まります。



❖ MEMO ❖

- 本機の電源をオフまたは車両のエンジンキーをオフにすると、数秒後自動的に操作パネルが閉まります。
- 調整したアングル位置は自動的にメモリーされますので、次回電源をオンまたは車両のエンジンキーをオンにしたときに元のアングルになります。



注意

- 操作パネルのスライド動作中に指などを挟まないようご注意ください。
- 操作パネル角度調整時及びCDの出し入れで操作パネルをスライドした時にシフトレバーなどに操作パネルが干渉する場合があります。その場合は、安全に注意してシフトレバーを動かすなどして本機を操作してください。
- スライドした操作パネルに無理な力をかけないでください。

時計調整 –時刻を合わせる–

1. CLK ADJ.ボタンを1秒以上押しと「」が点滅して時計調整モードになります。

2. 以下の操作をして時間を設定します。

● “時” の調整

FM+ボタンを押すごとに“時”が進み、AM-ボタンを押すごとに“時”が戻ります。

● “分” の調整

▶▶ボタンを押すごとに“分”が進み、◀◀ボタンを押すごとに“分”が戻ります。

3. CLK ADJ.ボタンを押すと時間がセットされ時計調整モードが終了します。



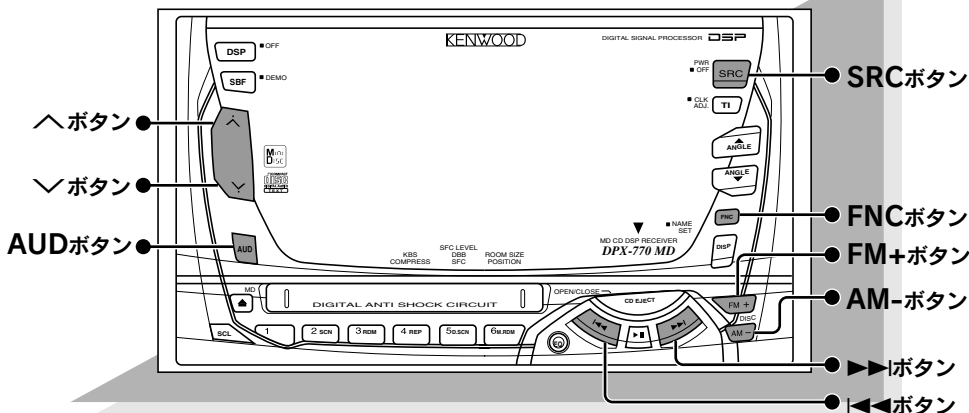
❖ MEMO ❖

- 本機の電源がオフのときおよび車両のエンジンキーがオフのときは時計表示しません。
- “分”を調整すると、秒が“00”になり時計調整モードが終了後カウントを開始します。

ALL OFF表示モード切り替え –ALL OFFモードの表示を切り替える–

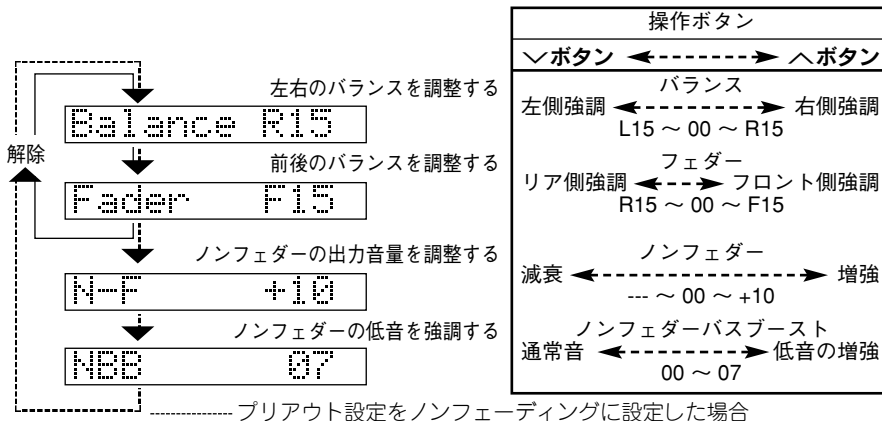
ALL OFFモード中にDISPボタンを押すごとに表示が下記の順に切り替わります。

▶キャラクター ▶ 時計 ▶ モード表示



オーディオコントロール -オーディオの各種設定-

1. AUDボタンを押すとオーディオ調整モードになります。
2. AUDボタンを押すごとに調整項目が下記の順に切り替わります。
3. 各調整項目中にへボタンまたは∨ボタンを押すと設定を変更できます。
4. 5秒間以上何も操作しないとオーディオ調整モードは自動的に解除されます。



◆ MEMO ◆

- 「N-F」、「NBB」の調整はファンクションセットのプリアウト選択でノンフェーディング (N-F) を選択した場合に追加されます。(ファンクションセットについては15ページをご覧ください。)
- ノンフェーディング (N-F) とはフェーダー (Fader) で前後に調整してもレベルが変化しない出力で、おもにサブウーファー用パワーアンプを接続するときに使用します。

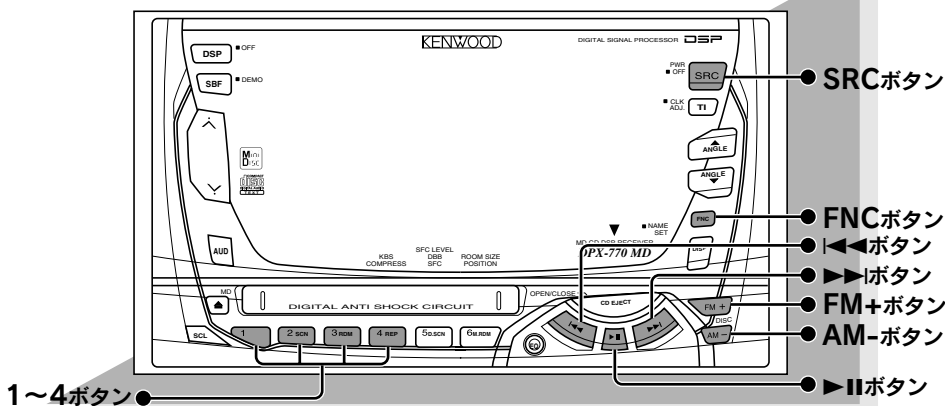
ALL OFFモードファンクションセット -システムを設定する-

1. SRCボタンを押して「ALL OFF」を表示させます。
2. FNCボタンを押すと、「Function Set」と表示され、ALL OFFモードファンクションセットモードになります。
3. ▶▶ボタンまたは◀◀ボタンを押すごとに設定項目が下記の順に切り替わります。
4. FM+ボタンまたはAM-ボタンを押すと設定が変更できます。
5. FNCボタンを押すとファンクションセットモードが終了します。

設定項目 -説明-	設定
操作確認音 (ビーブ音) -操作時の確認音のオン/オフ-	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">BEEP On</div>	BEEP On: 鳴らす BEEP Off: 鳴らさない
FMダイバシティ機能 -FMダイバシティ対応に切り替える- (FMダイバシティとは、複数のFMアンテナの中で一番受信状態の良いアンテナに切り替える機能)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">FM DIVER Off</div>	FM DIVER On: 使う FM DIVER Off: 使わない
プリアウト選択 -リアプリアウトをサブウーファー用に切り替える-	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Preout Rear</div>	Preout Rear: リアプリアウト Preout N-F: ノンフェーディングプリアウト
表示部の輝度調整 -表示部の明るさを調整する- (ヘッドライトのオンとオフとで別々に設定ができます。)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">BRIGHT 13</div> (ヘッドライト オフ時)	01: 暗くする ▼▲
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">BRIGHT 04</div> (ヘッドライト オン時)	13: 明るくする
ハイパスフィルター選択 -ハイパスフィルターの調整モード切り替える-	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">HPF Ctrl On</div>	HPF Ctrl Off: 調整しない HPF Ctrl On: 調整する
セキュリティコード -暗証番号を登録して盗難を防止する-	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">CODE STBY</div>	詳しくはALL mode 「セキュリティコード」の項目をご覧ください。(17ページ参照)

◆ MEMO ◆

- 設定項目表内の表示は、お買い上げ時の設定です。
- FMダイバシティ対応車に取り付ける場合はFMダイバシティをオンに切り替えてください。FMダイバシティ未対応車でも市販のアンテナとダイバシティ変換プラグ(CA-83U)を使用すると、FMダイバシティの効果を得ることができます。くわしくはカーオーディオカタログをご覧ください。
- 表示部輝度調整のヘッドライトとの連動は、車両のヘッドライトのオン/オフに連動するハーネスに本機のILLUMIコードを接続していないと機能しません。



ハイパスフィルター (HPF) の設定

— ノンフェーディングブリアウト以外の出力の低音をカットする —

● ハイパスフィルターの設定をオンにする

1. **SRCボタン**を押して「ALL OFF」を表示させます。
2. **FNCボタン**を押すと、「Function Set」と表示され、ファンクションセットモードになります。
3. **▶▶ボタン**または**◀◀ボタン**を押してHPF調整モード選択にします。
HPF調整モード選択は現在の設定状態により、下記の2種類の表示で示されます。
「HPF Ctrl On」.....ハイパスフィルターの調整ができます。
「HPF Ctrl Off」.....ハイパスフィルターの調整ができません。
4. **FM+ボタン**または**AM-ボタン**を押すごとにHPF調整モードがオンとオフに切り替わります。
5. **FNCボタン**を押してファンクションセットモードを終了します。

● ハイパスフィルターの周波数を調整する

1. **SRCボタン**を押して「TUNER」など「ALL OFF」以外のソースモードを表示させます。
2. **FNCボタン**を押すと、「Function Set」と表示され、ファンクションセットモードになります。
3. **▶▶ボタン**または**◀◀ボタン**を押して調整したい項目を表示させます。
「HPF-F」.....フロント用ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
「HPF-R」.....リア用ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
4. **FM+ボタン**または**AM-ボタン**を押すごとにハイパスフィルターのカットオフ周波数の設定が下記のように切り替わります。
Off (HPFオフ) ↔ 40 Hz ↔ 60 Hz ↔ 80 Hz ↔ 100 Hz ↔ 120 Hz ↔ 160 Hz ↔ 180 Hz ↔ 220 Hz
5. **FNCボタン**を押してファンクションセットモードを終了します。

◆ MEMO ◆

- ハイパスフィルターは、スピーカ出力とノンフェーディングブリアウト以外のブリアウトの低音を出力しないようにします。ハイパスフィルターのカットオフ周波数は、フロントとリアそれぞれに調整できます。

❖ MEMO ❖

- HPF調整モードの設定をオンにしていないと、ハイパスフィルターのカットオフ周波数の調整ができません。
- ハイパスフィルターのカットオフ周波数の設定は、各ソースモード共通に設定されます。

セキュリティコード -暗証番号を登録して盗難を防止する-

● セキュリティコードを登録する

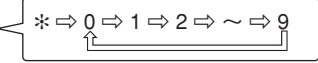


- 一度セキュリティ機能を働かせると、登録したセキュリティコードの消去/変更はできませんのでご注意ください。ファンクションセットから「CODE STBY」の設定項目がなくなります。
- セキュリティコードは、セキュリティを解除して本機を操作できるようにするための大切なものです。慎重に決め、忘れないようにしてください。
- セキュリティコードを登録してセキュリティ機能が働くと、本機をバッテリーから外したときやリセットボタンを押したときは、セキュリティコードの入力が必要となります。登録したセキュリティコードを入力しないと本機の操作ができなくなります。

1. セキュリティコードにする、4桁の数字を決めます。
2. SRCボタンを押して「ALL OFF」を表示させます。
3. FNCボタンを押すと「Function Set」と表示されファンクションセットモードになります。
4. ▶▶ボタンまたは◀◀ボタンを押して「CODE STBY」を表示させます。
5. FM+ボタンまたはAM-ボタンを2秒以上押すと「CODE WRITE」「CODE ****」と表示され、コード入力状態になります。
6. 1~4ボタンを押して手順1.で決めたセキュリティコードを入力します。

例：セキュリティコードが **3|5|1|0** の場合

押すボタン	1ボタン	2ボタン	3ボタン	4ボタン
ボタンを押す回数	4回	6回	2回	1回
表示	「3」	「5」	「1」	「0」



7. ▶▶ボタンを押してセキュリティコードを確定します。
8. 確認のためもう一度「CODE ****」と表示され、コード入力状態になります。手順6.で入力したセキュリティコードと同じコードを入力してください。

❖ MEMO ❖

誤ったコードを入力するとコード確認モードは解除されます。再び、手順6.からの操作となります。

9. ▶▶ボタンを押してセキュリティコードを登録します。セキュリティコードが登録されると、セキュリティ機能がオンになります。これ以降は、バッテリーと本機の接続が外されると、最初に電源をオンにしたときにセキュリティコードの入力が要求されるようになります。
- **セキュリティを解除して本機を操作するには**

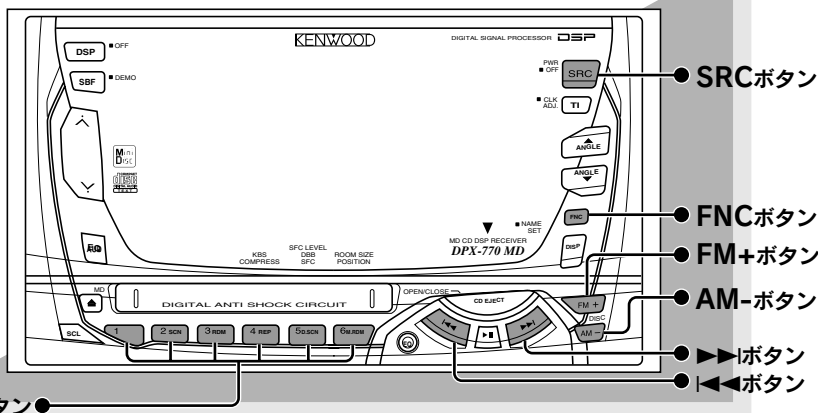
最初に電源をオンにすると、「CODE ****」と表示され、セキュリティコードの入力を要求されます。手順6.~7.の操作をして正しいセキュリティコードを入力します。「CODE OK!」と表示され、本機の操作ができるようになります。

❖ MEMO ❖

- 誤ったコードが入力されると「CODE NG!」と表示され電源が切れます。再び、電源を入れ正しいセキュリティコードを入力し直してください。
- セキュリティコードを忘れたときは、お近くのケンウッドサービスへお問い合わせください。

TUNER MODE

TUNER MODE



1~6ボタン●

チューナーモード -ラジオを聴くモード-

SRCボタンを押して「TUNER」を表示させるとチューナーモードです。

チューナーファンクションセット -チューナーの機能を設定する-

1. TUNERモード中にFNCボタンを押すと「Function Set」と表示され、チューナーファンクションセットモードになります。
2. ▶▶ボタンまたは◀◀ボタンを押すごとに設定項目が下記の順に切り替わります。
3. FM+ボタンまたはAM-ボタンを押すと設定が変更できます。
4. FNCボタンを押すとファンクションセットモードが終了します。

設定項目 -説明-	設定
フロント用HPF周波数設定 -フロント出力用ハイパスフィルターのカットオフ周波数調整-	
HPF-F Off	詳しくはALL mode「ハイパスフィルターの設定」の項目をご覧ください。(16ページ参照)
リア用HPF周波数設定 -リア出力用ハイパスフィルターのカットオフ周波数調整-	
HPF-R Off	詳しくはALL mode「ハイパスフィルターの設定」の項目をご覧ください。(16ページ参照)
チューニング方法選択 -選局方法をオートチューニング(自動選局)とマニュアルチューニング(手動選局)とに切り替える-	
Auto Seek	Auto Seek: オート... AUTO インジケーター点灯 Manual Seek: マニュアル
強制モノラル受信選択 -モノラルで受信しノイズを少なくして聴く-(FMバンド受信中のみ設定項目が表示されます。)	
MONO Off	MONO On: 強制モノラル... MONO インジケーター点灯 MONO Off: オートステレオ
オートメモリー -自動的に放送局を探してメモリーする-	
AME Ready	詳しくは右記「オートメモリー」の項目をご覧ください。

❖ MEMO ❖

- 設定項目表内の表示は、お買い上げ時の設定です。
- 「HPF-F」、「HPF-R」の調整はALL modeのハイパスフィルターの設定で「HPF Ctrl On」に選択した場合に追加されます。(16ページ参照)

バンド切り替え -聴きたいバンドを選ぶ-

●FM放送を聴く

FM+ボタンを押すごとにFMプリセットバンドが「F1」と「F2」とに切り替わります。

F1- 82.5 MHz

●AM放送を聴く

AM-ボタンを押すごとにAMプリセットバンドが「A1」と「A2」とに切り替わります。

A1- 999 kHz

選択したバンドが表示されます。

チューニング -放送局を選ぶ-

●オートチューニング 選択時 (AUTO インジケータ点灯)

- ▶◀ボタンを押すと周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。
- ▶▶ボタンを押すと周波数の高い方へ自動的に放送局を探して受信します。

●マニュアルチューニング 選択時 (AUTO インジケータ消灯)

- ▶◀ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。
- ▶▶ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

FMステレオ放送を受信すると **ST** インジケータが点灯します。

チューナーメモリー -聴いている放送局をメモリーする-

放送局を受信中に1~6ボタンのいずれかを2秒以上押すと、押したボタンに今聴いている放送局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。
各プリセットバンドにそれぞれ6局までメモリーできます。

F1- 82.5 -10

オートメモリー -自動的に放送局を探してメモリーする-

1. FM+ボタンまたはAM-ボタンを押してメモリーしたいプリセットバンドを「F1」、「F2」、「A1」、「A2」から選びます。
2. FNCボタンを押すと「Function Set」と表示されファンクションセットモードになります。
3. ▶▶ボタンまたは▶◀ボタンを押して「AME Ready」を表示させます。
4. FM+ボタンまたはAM-ボタンを2秒以上押すとオートメモリーを開始します。

❖ MEMO ❖

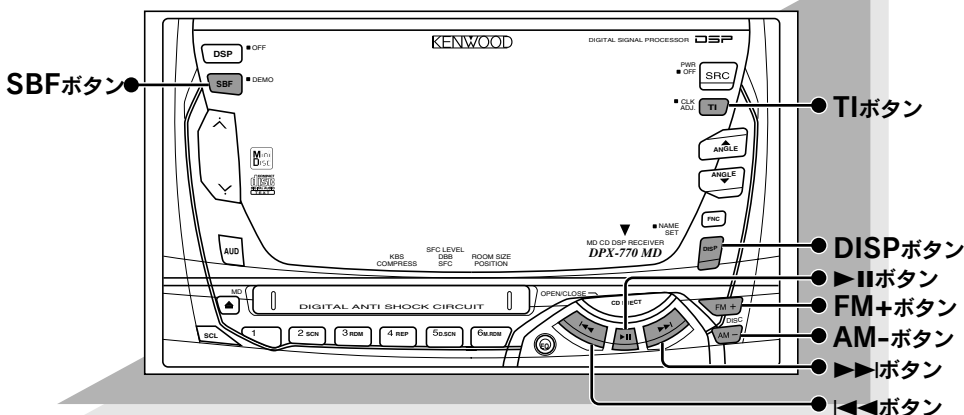
6局メモリーするか、周波数を1周して選んだバンドに受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーは終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。

メモリーコール -メモリーした放送局を呼び出す-

1~6ボタンのいずれかを押すとメモリーされたボタンNo.の放送局を受信します。

TUNER MODE

TUNER MODE



交通情報 - 交通情報を受信する -

TIボタンを押すごとに交通情報がオン/オフします。オンにすると「TRAFFIC」と表示され、交通情報局を受信します。

▶▶ボタンまたは◀◀ボタンを押すごとに周波数が下記のように切り替わります。

▶1620 kHz ◀▶1629 kHz ◀▶522 kHz ◀

T: I - 1620kHz

◆ MEMO ◆

- 交通情報オン中にSRCボタンでソースモードを切り替えると、交通情報は解除されます。
- 交通情報はモノラル音声です。なお、DSPやイコライザー効果は自動的にオフになります。
- 交通情報オン中は上記以外の周波数には切り替わりません。

チューナー表示モード切り替え - チューナー表示を切り替える -

TUNERモード中にDISPボタンを押すごとに下記のように表示が切り替わります。

▶周波数 ▶ SNPS (ステーションネーム) ▶ キャラクター ▶ 時計

◆ MEMO ◆

ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中にSNPS表示にすると、「No Name」と表示されます。

SNPS (ステーションネームプリセット) -放送局に名前を付ける-

1. 放送局名を付けたい周波数に合わせます。
2. **DISP**ボタンを2秒以上押すと「Name Set」と表示され、ステーションネームプリセットモードになり入力できる位置のカーソルが点滅します。
3. **▶▶**ボタンまたは**◀◀**ボタンを押して文字を入力したい位置にカーソルを移動させます。
4. **▶||**ボタンを押して、文字種を選びます。押すごとに下記のように文字種が切り替わります。入力したい文字種を表示させます。

→「A」 英大文字 ▶「a」 英小文字 ▶「ア」 カタカナ ▶「*」 数字記号

5. **FM+**ボタンまたは**AM-**ボタンで文字を選択します。押し続けると連続して文字を替えることができます。
手順3.~5.の操作を繰り返して放送局名を完成させます。
6. **DISP**ボタンを押すと放送局名が登録され、ステーションネームプリセットモードが終了します。

..... 文字種

..... a

..... FM

◆ MEMO ◆

- 入力できる文字数は8文字までです。
- 「*」 数字記号で入力できる文字は「_0123456789/+-*=&"' < > []」です。
- スペースは、**FM+**ボタンまたは**AM-**ボタンで文字が表示されないところを選択します。
- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字が登録されステーションネームプリセットモードが終了します。
- 登録できる放送局数はFM/AM合わせて30局までです。31局目のステーションネームプリセットをおこなうと、1局目の登録した放送局名が消去されます。
- 放送局名を変更したいときは以下の操作を行います。
手順1.と2.で現在の放送局名を表示させ、その後手順3.~6.で変更します。

SBF (セレクトバイファイル) -放送局名で選局する-

1. **SBF**ボタンを押すと「SBF SNPS」と表示され1秒後に、チューナーメモリーされている放送局を5秒間ずつ順に表示していきます。
 - SNPSで登録した放送局は登録した放送局名
 - 放送局名が登録されていない場合は周波数表示
2. **▶▶**ボタンを押すと早送り、**◀◀**ボタンを押すと早戻しに表示できます。
FM+ボタンを押すとFMバンドに、**AM-**ボタンを押すとAMバンドに切り替えることができます。
3. 聴きたい放送局が表示されているときに**SBF**ボタンを押すと受信が始まります。

SBF SNPS

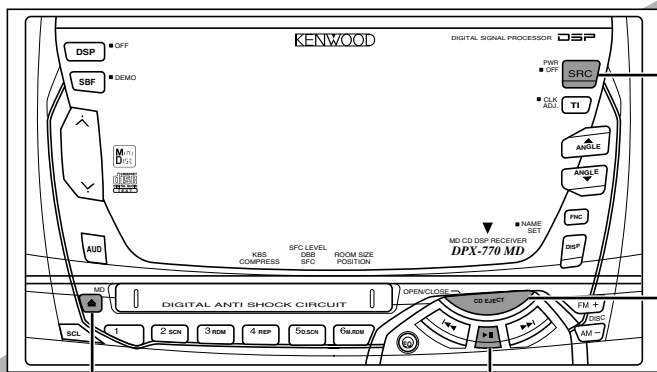
◆ MEMO ◆

- 途中で解除するときは、SBFボタンを1秒以上押します。

M-D/CD MODE



M-D/CD MODE



▲MDボタン ●

●SRCボタン

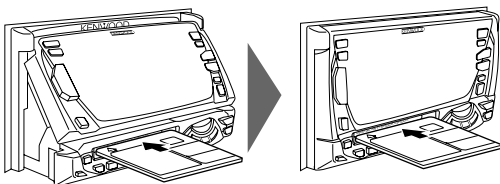
●CD EJECTボタン

●▶IIボタン

ディスクローディング—MDやCDを挿入する—

●MDをセットする

MDを入れる方向に合わせてMD挿入口に差し込みます。操作パネルがスライドしている場合は、自動的に操作パネルが閉まります。その後さらにMDを差し込んでください。ローディングが完了すると自動的に元のアングルに戻ります。

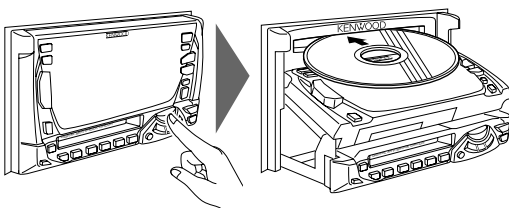


◆MEMO◆

CD EJECTボタンが赤色のときは、MDを挿入することができません。操作パネルを閉めてからMDを挿入してください。

●CDをセットする

CD EJECTボタンを押すと操作パネルがスライドしてCD挿入口にCDを差し込めるようになります。ローディングが完了すると自動的に元のアングルに戻ります。



◆MEMO◆

MDをイジェクトし挿入口に置いた状態では、操作パネルをスライドすることができずCDを挿入できなくなります。MDを抜き出してからCD EJECTボタンを押しCDを挿入してください。

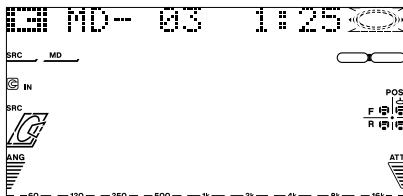


注意

- 操作パネルのスライド動作中に指などを挟まないようご注意ください。
- 操作パネル角度調整時及びCDの出し入れで操作パネルを倒した時にシフトレバーなどに操作パネルが干渉する場合があります。その場合は、安全に注意してシフトレバーを動かすなどして本機を操作してください。
- スライドした操作パネルに無理な力をかけないでください。

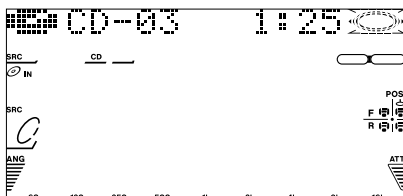
MDプレイ/ポーズ -MDを演奏する-

- MDが入っていないとき (Ⓞ IN インジケータ消灯)
MDを入れる方向に合わせてMD挿入口に差し込みます。
ローディングが完了すると、Ⓞ IN インジケータが点灯し、トラックNo.と演奏時間が表示され、MDの演奏が始まります。
- MDが入っているとき (Ⓞ IN インジケータ点灯)
SRCボタンを押して「MD」を表示させると、MDの演奏が始まります。
- ポーズ (一時停止にする)
MDプレイ中に▶||ボタンを押すと、演奏時間表示が点滅して、MDプレイが一時停止になります。再度 ▶||ボタンを押すとMDプレイが始まります。



CDプレイ/ポーズ -CDを演奏する-

- CDが入っていないとき (Ⓞ IN インジケータ消灯)
CDをレーベル面を上にして差し込みます。ローディングが完了すると、Ⓞ IN インジケータが点灯し、トラックNo.と演奏時間が表示され、CDの演奏が始まります。
- CDが入っているとき (Ⓞ IN インジケータ点灯)
SRCボタンを押して「CD」を表示させると、CDの演奏が始まります。
- ポーズ (一時停止にする)
CDプレイ中に▶||ボタンを押すと、演奏時間表示が点滅して、CDプレイが一時停止になります。再度 ▶||ボタンを押すとCDプレイが始まります。



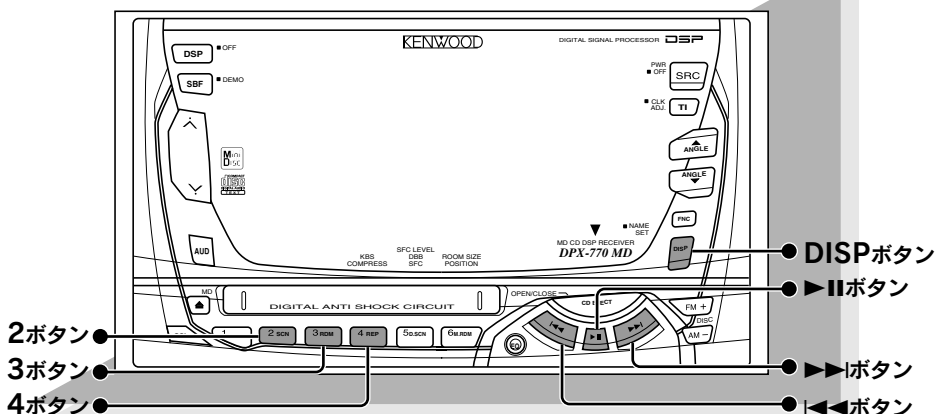
イジェクト -MDやCDを取り出す-

- MDの取り出し
▲MDボタンを押すとMDがイジェクトされます。
操作パネルがスライドしている場合は、自動的に操作パネルが閉まりMDがイジェクトされます。MDを引き抜くと自動的に元のアングルに戻ります。
- CDの取り出し
CD EJECTボタンを押すと操作パネルがスライドしてCDがイジェクトされます。
CDを取り出した後は、CD EJECTボタンを押して操作パネルを閉じてください。



注意

- CDが引き込まれてからすぐにイジェクトすると、再度CDを押しても引き込まれないときがあります。このようなときは一旦CDを抜いて、もう一度入れ直してください。
- MD/CDをイジェクトした後は、MD/CDを挿入口に置いたままにしないでください。操作パネルを閉めることができなくなります。



トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -

● 先の曲を選ぶ

- ▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
- ▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。

● 現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ

- ◀◀ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
- ◀◀ボタンボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

トラックリピートプレイ - 同じ曲を繰り返し聴く -

4ボタンを押すごとにトラックリピートプレイがオン/オフします。

オンになると「Repeat」と表示されます。トラックリピートプレイ中はREPインジケータが点灯して、聴いている曲を繰り返し演奏します。



トラックスキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -

2ボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。

オンになると「Track Scan」と表示されます。トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯して、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら2ボタンまたは▶▶ボタンを押します。

すべての曲をスキャンすると自動的にトラックスキャンプレイがオフになります。



トラックランダムプレイ

— 聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する —

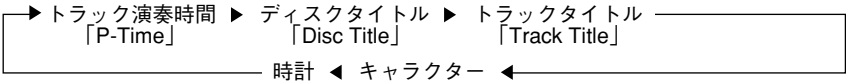
3ボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンにすると「Random」と表示されます。トラックランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯して、自動的に曲を選んで演奏します。
▶▶**ボタン**を押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



MD/CD表示モード切り替え — MDとCDの表示を切り替える —

MDまたはCDモード中に**DISP**ボタンを押すごとに下記の順に表示モードが切り替わります。

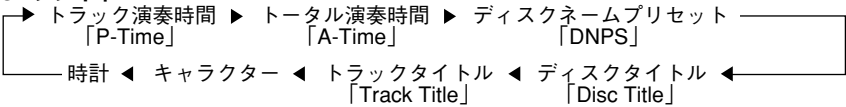
●MDプレイ中



◆ MEMO ◆

ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルまたはトラックタイトル表示に切り替えると「No Title」と表示されます。

●CDプレイ中



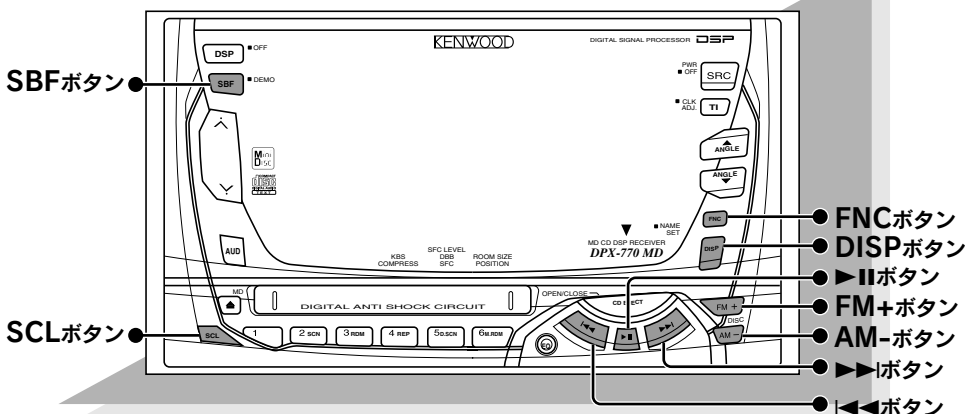
◆ MEMO ◆

- ディスクネームが登録されていないCDを演奏中に、DNPS表示にすると「No Name」と表示されます。
- ディスクテキストやトラックテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルまたはトラックタイトル表示に切り替えると「No Text」と表示されます。
- ディスクタイトル、トラックタイトルは、CDテキスト対応の音楽CDを演奏時に表示できます。なお、文字の種類によっては、表示できないものがあります。

MD/CD MODE



MD/CD MODE



MD/CDファンクションセット -MDとCDの機能を設定する-

1. MDまたはCDモード中に**FNCボタン**を押すと「Function Set」と表示され、MD/CDファンクションセットモードになります。
2. **▶▶ボタン**または**◀◀ボタン**を押すごとに設定項目が下記の順に切り替わります。
3. **FM+ボタン**または**AM-ボタン**を押すと設定が変更できます。
4. **FNCボタン**を押すとファンクションセットモードが終了します。

設定項目 -説明-

設定

オートスクロール -タイトルやテキストを繰り返してスクロール表示する-
(文字数が11文字以下の場合にはスクロールしません。)

AT. SCRL On

AT. SCRL On : 繰り返しスクロール表示する
AT. SCRL Off : スクロールしない

◆ MEMO ◆

- 設定項目表内の表示は、お買い上げ時の設定です。
- オートスクロールの設定は、MDモードとCDモードとでそれぞれ設定できます。
- ALL modeのハイパスフィルターの設定で「HPF Ctrl On」に選択した場合は、「HPF-F」、「HPF-R」の調整項目が追加されます。(16ページ参照)



マニュアルスクロール -タイトルやテキストを1回スクロール表示する-

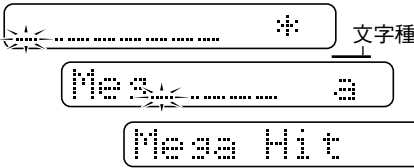
タイトルやテキストを表示しているときに**SCLボタン**を押すと1回スクロールして表示します。

DNPS (ディスク名前プリセット) -CDに名前を付ける-

1. ディスク名前を付けたいCDを演奏します。
2. **DISPボタン**を2秒以上押すと「Name Set」と表示され、ディスク名前プリセットモードになり入力できる位置のカーソルが点滅します。
3. **▶▶ボタン**または**◀◀ボタン**を押して文字を入力したい位置にカーソルを移動させます。
4. **▶||ボタン**を押して、文字種を選びます。押すごとに下記のように文字種が切り替わります。入力したい文字種を表示させます。

▶「A」 英大文字 ▶「a」 英小文字 ▶「ア」 カタカナ ▶「*」 数字記号

5. **FM+ボタン**または**AM-ボタン**で文字を選択します。押し続けると連続して文字を替えることができます。
手順3.~5.の操作を繰り返してディスク名前を完成させます。
6. **DISPボタン**を押すと名前が登録され、ディスク名前プリセットモードが終了します。



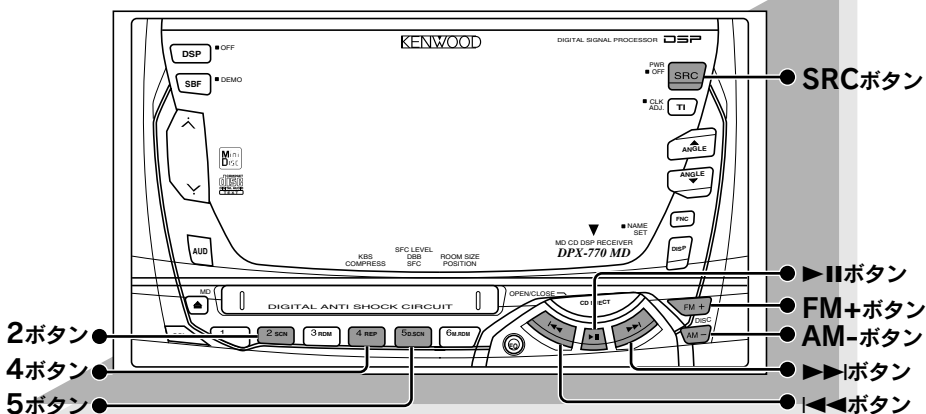
◆ MEMO ◆

- 入力できる文字数は8文字までです。
- 「*」 数字記号で入力できる文字は「_0123456789/+-*=&° '<> []」です。
- スペースは、**FM+ボタン**または**AM-ボタン**で文字が表示されないところを選択します。
- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字が登録されディスク名前プリセットモードが終了します。
- 登録できるディスクの枚数は、本機のCDモードとディスクチェンジャーモードと合わせて50枚までです。51枚目のディスク名前セットを行うと、1枚目に登録したディスク名前が消去されます。
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。
- ディスク名前を変更したいときは以下の操作を行います。
手順1.と2.で現在のディスク名前を表示させ、その後手順3.~6.で変更します。

DISC CHANGER CONTROL MODE



DISC CHANGER CONTROL MODE



ディスクプレイ/ポーズ -ディスクチェンジャーを演奏する-

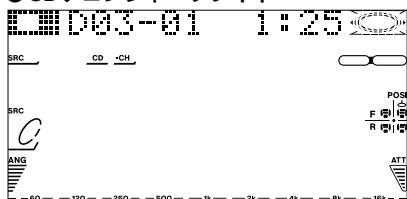
●プレイ (演奏する)

SRCボタンで「DISC-CH」または「CD-CH」を選択するとディスク/トラックNo.と演奏時間が表示され、ディスクの演奏が始まります。

●ポーズ (一時停止する)

ディスクプレイ中に▶IIボタンを押すと演奏時間表示が減速して、ディスクプレイが一時停止になります。再度▶IIボタンを押すとディスクプレイが始まります。

●CDチェンジャープレイ中



●MDチェンジャープレイ中



◆MEMO◆

KDC-C210/C206のO-Nスイッチを“N”に設定して接続した場合に「CD-CH」と表示されます。

ディスクチェンジャー切り替え -2台のディスクチェンジャーを切り替える-

ディスクチェンジャーを2台接続しているときは、ディスクチェンジャーモードが「DISC-CH1」⇒「DISC-CH2」と切り替わります。SRCボタンを押して、演奏したいディスクチェンジャーを選びます。

◆MEMO◆

ディスクチェンジャーを2台接続する場合は別売のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S200”が必要になります。また、KDC-C210/C206のO-Nスイッチは“O”に設定してください。(CDテキスト機能が使用できなくなります。)

トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -

● 先の曲を選ぶ

- ▶▶ ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
- ▶▶ ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。

● 現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ

- ◀◀ ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
- ◀◀ ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

ディスクサーチ - 聴きたいディスクを選ぶ -

● 先のディスクを選ぶ

FM+ ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。

● 手前のディスクを選ぶ

AM- ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。

トラック/ディスクリピートプレイ - 同じ曲やディスクを繰り返し聴く -

4 ボタンを押すごとにリピートプレイモードが下記の順に切り替わります。

▶ 「Repeat」 トラックリピート ▶ 「Disc Repeat」 ディスクリピート ▶ オフ

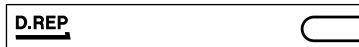
● トラックリピート

トラックリピート演奏中はREPインジケータが点灯し、聴いている曲を繰り返し演奏します。



● ディスクリピート

ディスクリピート演奏中はD.REPインジケータが点灯し、聴いているディスクを繰り返し演奏します。



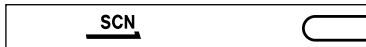
トラックスキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -

2 ボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。

オンになると「Track Scan」と表示されます。トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯して、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら2ボタンまたは▶▶ボタンを押します。

すべての曲をスキャンすると自動的にトラックスキャンプレイがオフになります。



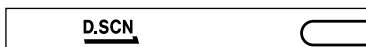
ディスクスキャンプレイ - 聴きたいディスクを探す -

5 ボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがオン/オフします。

オンになると「Disc Scan」と表示されます。ディスクスキャンプレイ中はD.SCNインジケータが点灯して、ディスクマガジンにセットされているディスクの先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたいディスクが見つかったら5ボタンまたは▶▶ボタンを押します。

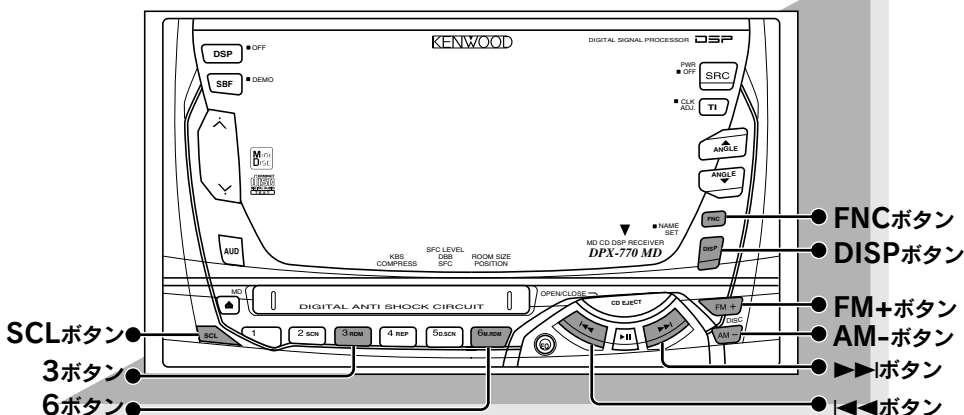
すべてのディスクをスキャンすると自動的にディスクスキャンプレイがオフになります。



DISC CHANGER CONTROL MODE



DISC CHANGER CONTROL MODE



トラックランダムプレイ - 聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する -

3ボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンにすると「Random」と表示されます。トラックランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯して、自動的に曲を選んで演奏します。
▶▶ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



マガジンランダムプレイ - マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する -

6ボタンを押すごとにマガジンランダムプレイがオン/オフします。オンにすると「M-Random」と表示されます。マガジンランダムプレイ中はM.RDMインジケータが点灯して、自動的に曲を選んで演奏します。
▶▶ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。

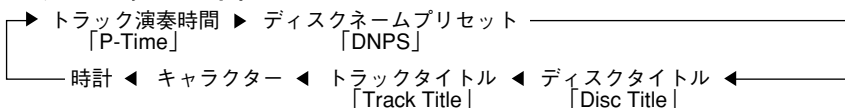


MDチェンジャー/CDチェンジャー表示モード切り替え

- MDチェンジャーとCDチェンジャーの表示を切り替える -

DISPボタンを押すごとに下記の順に表示モードが切り替わります。

●MDチェンジャープレイ中



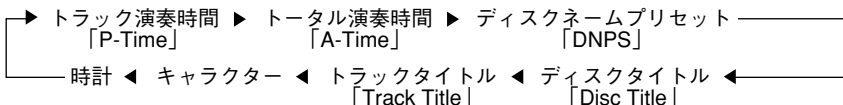
◆MEMO◆

- ディスク名前が登録されていないMDを演奏中に、DNPS表示にすると「No Name」と表示されます。
- ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルまたはトラックタイトル表示に切り替えると「No Title」と表示されます。

◆ MEMO ◆

- ディスクタイトルやトラックタイトルの表示は、8文字までです。9文字以降は表示されません。
- ディスクタイトルやトラックタイトルのカナは表示できません。

● CDチェンジャープレイ中



◆ MEMO ◆

- ディスクネームが登録されていないCDを演奏中に、DNPS表示にすると「No Name」と表示されます。
- ディスクテキストやトラックテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルまたはトラックタイトル表示に切り替えると「No Text」と表示されます。
- ディスクタイトル、トラックタイトルは、CDテキスト対応の音楽CDを演奏時に表示できます。なお、文字の種類によっては、表示できないものがあります。
- ディスクタイトル、トラックタイトルは、KDC-C210/C206のO-Nスイッチを“N”に設定して接続した場合に切り替えることができます。

CDチェンジャーファンクションセット -CDチェンジャーの機能を設定する-

1. CDチェンジャーモード中に**FNCボタン**を押すと「Function Set」と表示され、CDチェンジャーファンクションセットモードになります。
2. **▶▶ボタン**または**◀◀ボタン**を押すごとに設定項目が下記の順に切り替わります。
3. **FM+ボタン**または**AM-ボタン**を押すと設定が変更できます。
4. **FNCボタン**を押すとファンクションセットモードが終了します。

設定項目 -説明-

設定

オートスクロール -タイトルやテキストを繰り返してスクロール表示する-
(文字数が11文字以下の場合はスクロールしません。)

AT. SCRL On

AT. SCRL On : 繰り返しスクロール表示する
AT. SCRL Off : スクロールしない

◆ MEMO ◆

- 設定項目表内の表示は、お買い上げ時の設定です。
- MDチェンジャーでは、オートスクロールに切り替えることはできません。
- KDC-C210/C206をO-Nスイッチを“N”に設定して接続した場合に、オートスクロールに切り替えることができます。
- ALL modeのハイパスフィルターの設定で「HPF Ctrl On」に選択した場合は、「HPF-F」、「HPF-R」の調整項目が追加されます。(16ページ参照)

マニュアルスクロール -タイトルやテキストを1回スクロール表示する-

タイトルやテキストを表示しているときに**SCLボタン**を押すと1回スクロール表示して表示します。

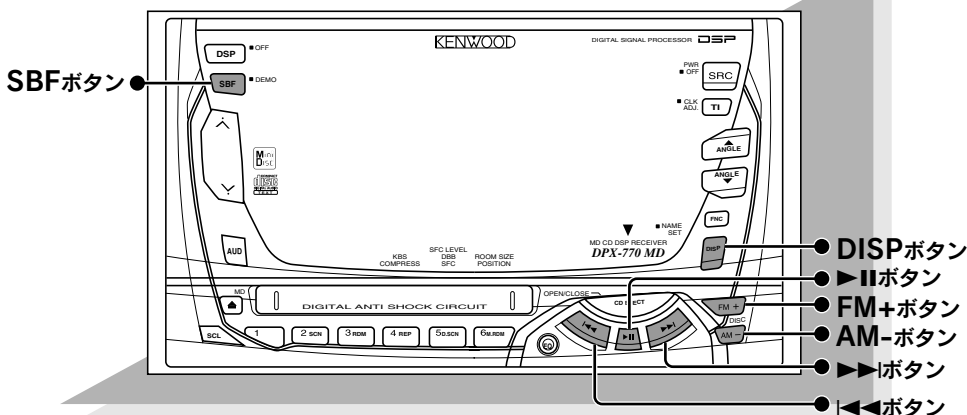
◆ MEMO ◆

MDチェンジャーで表示できる文字数は、8文字までです。スクロール表示はできません。

DISC CHANGER CONTROL MODE



DISC CHANGER CONTROL MODE



DNPS (ディスクネームプリセット) -MDやCDに名前を付ける-

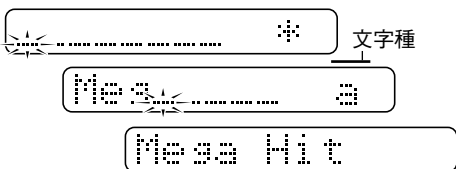
1. ディスクネームを付けたいディスクを演奏します。
2. **DISPボタン**を2秒以上押すと「Name Set」と表示され、ディスクネームプリセットモードになり入力できる位置のカーソルが点滅します。
3. **▶▶ボタン**または**◀◀ボタン**を押して文字を入力したい位置にカーソルを移動させます。
4. **▶▶ボタン**を押して、文字種を選びます。押すごとに下記のように文字種が切り替わります。入力したい文字種を表示させます。

▶「A」英大文字 ▶「a」英小文字 ▶「ア」カタカナ ▶「*」数字記号

5. **FM+ボタン**または**AM-ボタン**で文字を選択します。押し続けると連続して文字を替えることができます。

手順3.~5.の操作を繰り返してディスクネームを完成させます。

6. **DISPボタン**を押すと名前が登録され、ディスクネームプリセットモードが終了します。



❖ MEMO ❖

- 入力できる文字数は8文字までです。
- 「*」数字記号で入力できる文字は「_0123456789/+-*=&"' '<> []」です。
- スペースは、**FM+ボタン**または**AM-ボタン**で文字が表示されないところを選択します。
- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字が登録されディスクネームプリセットモードが終了します。
- 登録できるディスクの枚数は、本機のCDモードとディスクチェンジャーモードと合わせて50枚までです。51枚目のディスクネームセットを行うと、1枚目に登録したディスクネームが消去されます。(ディスクチェンジャー自身が持っているネームセット可能枚数は無効になります。)



◆ MEMO ◆

- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。
- ディスク名前を変更したいときは以下の操作を行います。
手順**1.**と**2.**で現在のディスク名を表示させ、その後手順**3.**~**6.**で変更します。

SBF (セレクトバイファイル) —ディスク名/ディスクタイトルで選曲する—

● CDチェンジャーを聴いているとき

1. **SBFボタン**を押すと「SBF DNPS」と表示され1秒後に、マガジンに入っているCDのディスク名(DNPS)とディスクNo.を5秒間ずつ表示します。
2. **FM+ボタン**を押すと早送り、**AM-ボタン**を押すと早戻しに表示できます。
3. 聴きたいディスク名が表示されているときに**SBFボタン**を押すと、CDの演奏が始まります。

◆ MEMO ◆

- 途中で解除するときは、SBFボタンを1秒以上押します。
- ディスク名が登録されていないCDは、「No Name」と表示されます。
- CDチェンジャーに入れてから1度も演奏されていないCDの場合やディスクマガジンにCDが入っていない場合は「No Access」と表示されます。

● MDチェンジャーを聴いているとき

1. **SBFボタン**を押すごとに下記のように切り替わります。

▶「SBF DNPS」▶ 「SBF Disc」▶ オフ

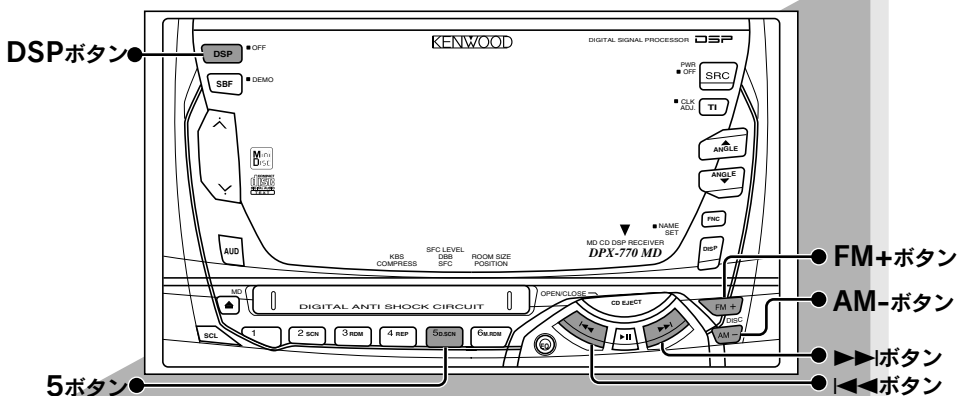
- 「SBF DNPS」を表示させると、1秒後にマガジンに入っているMDのディスク名(DNPS)とディスクNo.を5秒間ずつ表示します。
 - 「SBF Disc」を表示させると、1秒後にマガジンに入っているMDのディスクタイトルとディスクNo.を5秒間ずつ表示します。
2. **FM+ボタン**を押すと早送り、**AM-ボタン**を押すと早戻しに表示できます。
 3. 聴きたいディスク名またはディスクタイトルが表示されているときに**SBFボタン**を押すと、MDの演奏が始まります。

◆ MEMO ◆

- 途中で解除するときは、SBFボタンを1秒以上押します。
- ディスクタイトルのカナと漢字は表示できません。
- ディスク名が登録されていないディスクは、「No Name」と表示されます。
- ディスクタイトルが記録されていない場合は「No Title」と表示されます。
- MDチェンジャーに入れてから1度も演奏されていないMDの場合やディスクマガジンにMDが入っていない場合は「No Access」と表示されます。

DSP MODE

DSP MODE



DSP調整モード -DSP機能のオン/オフとDSP調整モードにする-

● DSPをオンにしDSP調整モードにする

DSPボタンを押すと「DSP On」と表示され、DSPインジケータが点灯します。
 DSPインジケータが点灯中に**DSPボタン**を押すと「DSP CTRL」と表示され、DSPインジケータが点滅しDSP調整モードになります。
 以降のDSP modeの各設定や調整は、「DSP CTRL」から操作を行います。

◆ MEMO ◆

10秒間何も操作しないとDSP調整モードは解除されます。

● DSPをオフにする

DSPボタンを1秒以上押し「DSP Off」と表示され、DSPインジケータが消えます。

◆ MEMO ◆

交通情報がオン中は、DSP効果が得られません。また、DSPの操作はできません。

サウンドフィールドコントロール (SFC)モード

-設定されているサウンドフィールドコントロールを呼び出す-

1. DSPボタンを押しDSP調整モードにします。現在設定されているサウンドフィールドコントロールが表示されます。
2. 5ボタンを押すごとにサウンドフィールドコントロールが下記の順で切り替わります。



1. Stadium

広大なスタジアム会場で解放感に満ちたサウンドがあふれだします。

2. Concert Hall

大会場のライブの臨場感を再現して車内を大きな音楽空間に変えます。また、BGM的に音楽を聴きたいときにも適します。

3. Live House

中規模なライブハウスのステージを体験できます。

4. Theater

映画館や劇場のような雰囲気が得られます。

5. Disco

熱気あふれる大規模なディスコホールを再現します。

6. Club Disco

小規模のディスコホールのビートサウンドをメリハリよく再現します。

7. Jazz Club

眼前で演奏する小規模なジャズクラブのステージを体験できます。

8. Studio

残響効果の少ない、録音スタジオの雰囲気になります。

9. Listening

オーディオリスニングルームのような最適な音場条件でソースを忠実に再現します。

10. Church

ヨーロッパ伝統の大聖堂の響きを再現、小編成のクラシックに最適です。

11. Bypass

効果音を加えずそのまま出力します。

SFCLレベル調整 -DSP効果音の大きさを変える-

1. DSP調整モード中に**5ボタン**を押しサウンドフィールドコントロール名を表示させます。
2. **FM+**ボタンまたは**AM-**ボタンを押すと下記のように「Nuance」SFCLレベルを調整できます。

「High」 ⇄ 「Mid」 ⇄ 「Low」

DSPの効果音が 大きい ←-----→ 小さい

◆ MEMO ◆

- サウンドフィールドコントロールがBypassに設定されているときはSFCLレベルは調整できません。
- お買い上げ時はMidに設定されています。

DSPバスブースト調整 -DSPの低域を補正する-

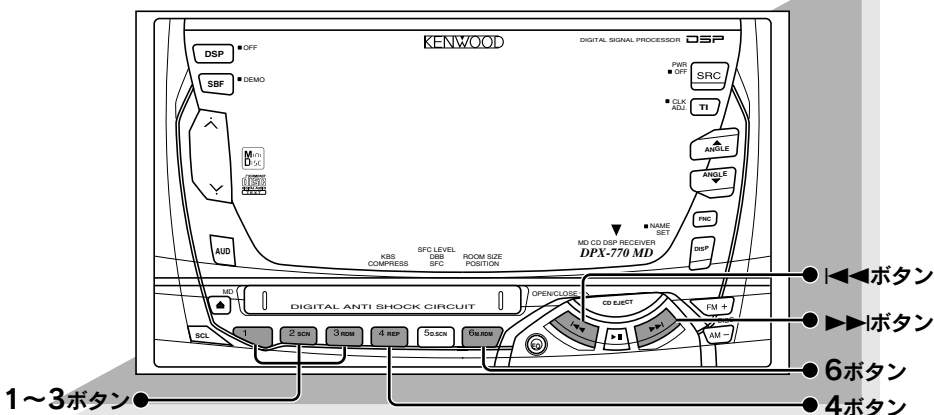
1. DSP調整モード中に**5ボタン**を押しサウンドフィールドコントロール名を表示させます。
2. **◀◀ボタン**または**▶▶ボタン**を押すと下記のように「DBB」DSPバスブーストを調整できます。

「STEP1」 ⇄ 「STEP2」 ⇄ 「STEP3」

ブーストする低音域が 狭い ←-----→ 広い

◆ MEMO ◆

- サウンドフィールドコントロールでBypass以外を選択すると、リア側の音が効果音中心となり低音が不足することがあります。このようなときは、DSPバスブーストをオンにして低音域を加えることにより、量感を増すことができます。
- サウンドフィールドコントロールがBypassに設定されているときはDSPバスブーストは調整できません。
- お買い上げ時はSTEP2に設定されています。



コンプレッション調整 - ダイナミックレンジを圧縮する -

1. DSP調整モード中に**4ボタン**を押します。現在設定されている「Comp」ダイナミックレンジが表示されます。
2. **4ボタン**を押すごとに「Comp」ダイナミックレンジが下記の順で切り替わります。

▶ 「OFF」 → 「Step1」 ▶ 「Step2」 ▶ 「Step3」
 圧縮しない 圧縮率が少ない ◀ --- ▶ 圧縮率が高い

◆ MEMO ◆

- クラシックなどダイナミックレンジの大きなソースを聴くときに、ロードノイズなどの騒音に埋もれがちなレベルの小さい音だけを持ち上げるので、ボリュームを変えなくても小さな音まで聴くことができます。
- お買い上げ時はOFFになっています。

ポジション切り替え - 聴く位置に合わせてDSPを調整する -

1. DSP調整モード中に**6ボタン**を押します。現在設定されているポジションが表示されます。
2. **6ボタン**を押すごとにポジションが下記の順で切り替わります。

▶ 「ALL」 ▶ 「Front-Right」 ▶ 「Front-Left」 ▶ 「Front」 ▶ 「Rear」

1. ALL

車室内の中心
 POSI
 F | ● |
 R | ● |

3. Front Left

前部座席左側が中
 POSI
 F | ● | ● |
 R | ● |

5. Rear

後部座席が中心
 POSI
 F | ● | ● | ● |
 R | ● | ● | ● |

2. Front Right

前部座席右側が中
 POSI
 F | ● | ● |
 R | ● |

4. Front

前部座席が中心
 POSI
 F | ● | ● | ● |
 R | ● | ● |

◆ MEMO ◆

- ポジション切り替えは、選択されたポジションの音を強調するのではなく、選択されたポジションを中心にDSP効果を出すためのものです。
- バランス/フェダー調整が中央位置になっていないと、正しいDSP効果が得られません。ポジション切り替えを行うときは、バランス/フェダーを中央に調整してください。

ルームサイズ調整 - 車内のスピーカーの位置、室内サイズに合わせた設定にする -

1. DSP調整モード中に**6ボタン**を押します。現在設定されているポジションが表示されます。
2. **◀◀ボタン**または**▶▶ボタン**を押すと下記のように「Room」ルームサイズを調整できます。

「Small」 ⇄ 「Medium」 ⇄ 「Large」

1BOXやRVなど、フロントスピーカーとリアスピーカーが離れている場合

セダン、スポーティーカーなど

コンパクトカーなど、フロントスピーカーとリアスピーカーが近い場合

◆ MEMO ◆

- ポジション切り替えがALLに設定されているときはルームサイズ調整できません。
- お買い上げ時はMediumに設定されています。

ユーザーメモリー - オリジナルのDSP設定をメモリーする -

DSP調整モードの全ての設定、調整を3つまでメモリーすることができます。

● DSP設定をメモリーする

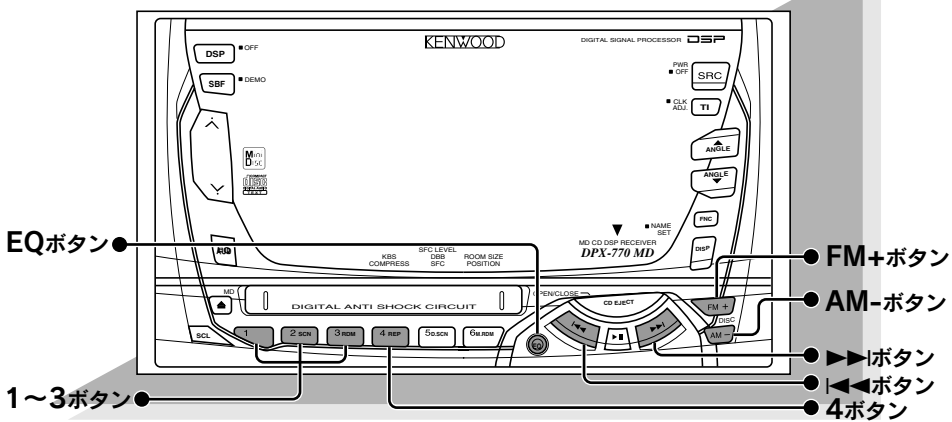
1. DSP調整モード中にメモリーしたいDSPの設定にします。
2. **1、2、3ボタン**のいずれかを2秒以上押します。
押したボタンに現在のDSP設定がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。

● DSP設定を呼び出す

DSP調整モード中に**1、2、3ボタン**のいずれかを押すと、「[DSP Memory [No.]]」が表示され、ユーザーメモリーされたDSPの設定に替わります。

EQUALIZER MODE

EQUALIZER MODE



EQ調整モード -イコライザー調整モードにする-

EQボタンを押すごとにEQ（イコライザー）調整モードがオン/オフします。オンにすると「EQ CTRL」と表示され、イコライザー／アナライザーの操作ができるようになります。

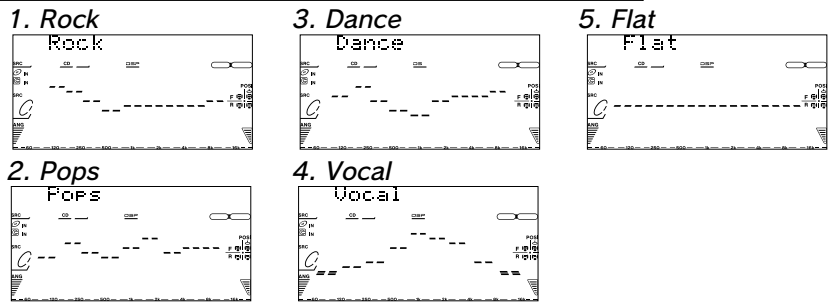
以降のEQUALIZER modeの各設定や調整は、「EQ CTRL」から操作を行います。

- ◆ MEMO ◆
- 10秒間何も操作しないとEQ調整モードは解除されます。
 - 交通情報がオン中は、イコライザー効果が得られません。また、イコライザーの操作はできません。

イコライザー(KBS-KENWOOD Built-in Sound)モード

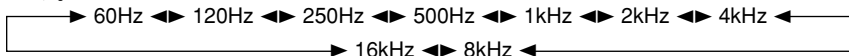
-設定されているイコライザーカーブを呼び出す-

1. EQボタンを押してEQ調整モードにします。現在設定されているイコライザーカーブ名が表示されます。
2. 4ボタンを押すごとにイコライザーカーブが下記の順で切り替わります。

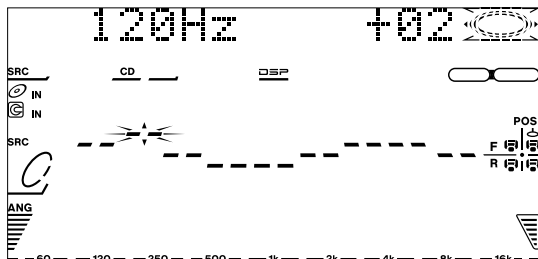


イコライザー調整 –音楽や車に合わせて音質を調整する–

1. EQ調整モード中に◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押すごとに調整できる周波数が移動します。



2. FM+ボタンまたはAM-ボタンを押すごとにイコライザーレベルが上下します。プラスとマイナスに各6段階ずつ13ステップで替わります。
3. イコライザーを調整すると、イコライザーカーブ名は「User」になります。



❖ MEMO ❖

イコライザーレベルの調整は1つのバンドのみ上げるのではなく、カーブを描くように各音域を全体的に調整してください。

ユーザーメモリー –オリジナルのEQカーブをメモリーする–

イコライザーカーブを3つまでメモリーすることができます。

●イコライザーカーブを登録する

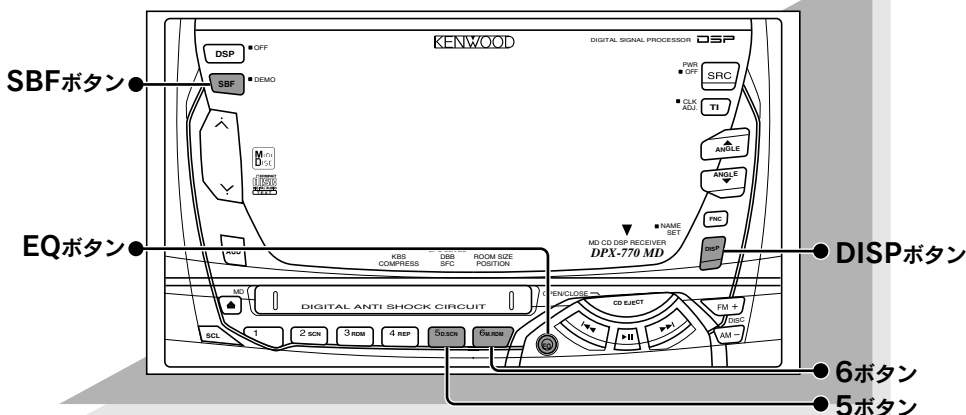
1. EQ調整モード中にメモリーしたいイコライザーカーブを作ります。
2. 1、2、3ボタンのいずれかを2秒以上押します。押したボタンに現在表示中のイコライザーカーブがメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。

●イコライザーカーブを呼び出す

EQ調整モード中に1、2、3ボタンのいずれかを押すと、「EQ Memory [No.]」が表示され、ユーザーメモリーされたイコライザーカーブに替わります。

EQUALIZER MODE

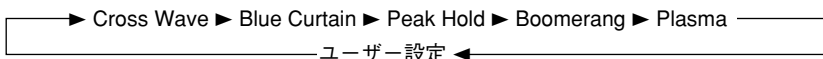
EQUALIZER MODE



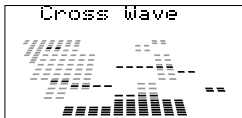
スペアナ切り替え - スペクトラムアナライザー表示を切り替える -

● 設定されているスペアナを切り替える

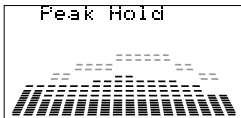
EQ調整モード中に**DISP**ボタンを押すごとに設定されているスペアナが下記の順に切り替わります。



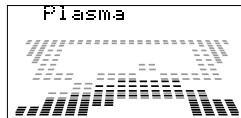
1. Cross Wave



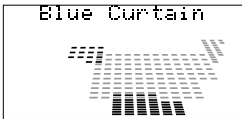
3. Peak Hold



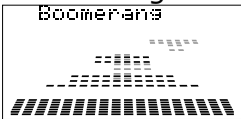
5. Plasma



2. Blue Curtain



4. Boomerang

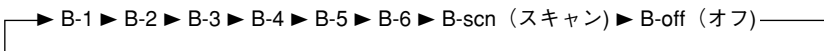


❖ MEMO ❖

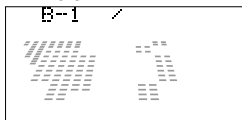
- BlueスペアナとWhiteスペアナの組み合わせを好みに合わせて別々に切り替えることができます。BlueスペアナまたはWhiteスペアナを切り替えるとユーザー設定として登録されます。
- お買い上げ時のユーザー設定はB-scn/WH-scnに設定されています。B-scn/WH-scnに設定するとB-1/WH-1~B-5/WH-5の組み合わせで順次表示されます。

● Blueスペアナのみを切り替える

EQ調整モード中に**5ボタン**を押すごとにBlueスペアナが下記の順に切り替わります。



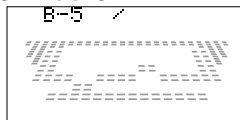
1. Blue-1



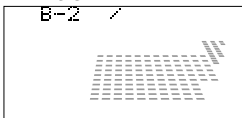
3. Blue-3



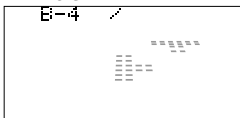
5. Blue-5



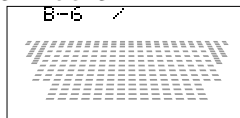
2. Blue-2



4. Blue-4

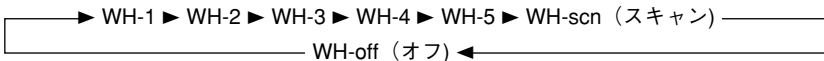


6. Blue-6

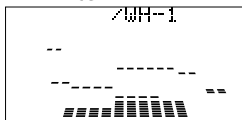


● Whiteスペアナのみを切り替える

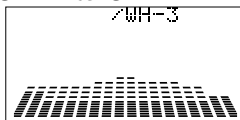
EQ調整モード中に**6ボタン**を押すごとにWhiteスペアナが下記の順に切り替わります。



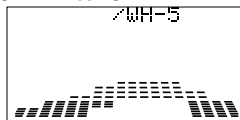
1. White-1



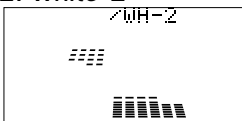
3. White-3



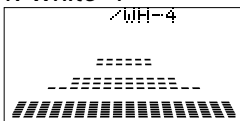
5. White-5



2. White-2



4. White-4



デモンストレーション — スペアナ表示を次々に替えて表示する —

SBFボタンを1秒以上押しとデモンストレーションがオンします。

デモンストレーションのオン中はスペアナ表示を順次切り替えて表示します。

何かボタンを押すとデモンストレーションは解除され、元のスペアナ表示に戻ります。

◆ MEMO ◆

ALL OFFモード中や交通情報がオン中はデモンストレーションの操作はできません。

REMOTE CONTROL MODE



REMOTE CONTROL MODE

ALL mode -共通の操作-

● **SRCボタン**
 押しごとにTUNER⇒MD⇒CD⇒DISC-CH⇒ALL OFFの順に切り替わります。

❖ MEMO ❖

- 「DISC-CH」モードは、接続している機種により「CD-CH」と表示されることがあります。
- ディスクチェンジャーを2台接続している場合は「DISC-CH1」⇒「DISC-CH2」と切り替わります。

● **VOL.ボタン**
 +ボタンまたは-ボタンで音量が調整できます。

● **ATTボタン**
 押しごとにアッテネーターがオン/オフします。
 アッテネーターをオンにすると音量を瞬時に小さくできます。

● **OPEN/CLOSEボタン**
 押しすと操作パネルが完全にオープンします。
 もう一度押しすと操作パネルが閉まります。

TUNER mode -チューナーの操作-

● **◀◀/▶▶ボタン**
 ◀◀ボタンを押しすと受信周波数が下がります。
 ▶▶ボタンを押しすと受信周波数が上がります。

● **FM+ / AM-ボタン**
 FM+ボタンを押しごとにFM1、FM2バンドに切り替わります。
 AM-ボタンを押しごとにAM1、AM2バンドに切り替わります。

● **ナンバーボタン**
 1~6ボタンはメモリーした放送局を呼び出します。

周波数で選局する-周波数で聴きたい放送局を選局する-
 OKボタン押しすと周波数入力モードになります。
 周波数表示部が点滅(10秒間)中にナンバーボタン(1~0ボタン)で聴きたい放送局の周波数を入力します。

例 押しボタン

FM 82.5 MHz OKボタン ⇒ ⑧②⑤
 AM 1134 kHz OKボタン ⇒ ①①③④

MD/CD mode -MDやCDの操作-



- **◀◀/▶▶ ボタン**
 ◀◀ボタンを1回押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
 ▶▶ボタンは先の曲へトラックサーチします。
- **▶|| ボタン**
 押すごとに演奏のプレイ/ポーズができます。
- **ナンバーボタン**
 演奏したいトラックNo.を入力します。
 トラックNo.表示が点滅(10秒間)中に、◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押すと入力したNo.のトラックをサーチします。

DISC CHANGER CONTROL mode

-MDチェンジャーやCDチェンジャーの操作-



- **◀◀/▶▶ ボタン**
 ◀◀ボタンを押すと聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
 ▶▶ボタンは先の曲へトラックサーチします。
- **▶|| ボタン**
 押すごとに演奏のプレイ/ポーズができます。
- **FM+ / AM- ボタン**
 FM+ボタンは次のディスクを演奏します。
 AM-ボタンは手前のディスクを演奏します。
- **ナンバーボタン**
 演奏したいトラックNo.またはディスクNo.を入力します。
 トラックNo.またはディスクNo.表示が点滅(10秒間)中に、
 ●◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押すと入力したNo.のトラックをサーチします。
 ●FM+ボタンまたはAM-ボタンを押すと入力したNo.のディスクをサーチします。

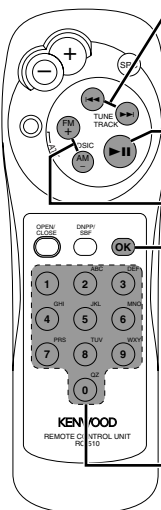
REMOTE CONTROL MODE

SNPS/DNPS mode

—ステーションネームプリセット/ディスクネームプリセットの操作—



REMOTE CONTROL MODE



◀◀/▶▶ ボタン

◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押すと文字入力カーソルの位置が移動します。

▶|| ボタン

押すごとに文字種が下記の順に切り替わります。

→「A」英大 ▶「a」英小 ▶「ア」カナ ▶「*」数記

FM+ / AM- ボタン

FM+ボタンまたはAM-ボタンを押すと文字を選択できます。文字ボタンを操作せずに文字を選択したいときに使用します。

OK ボタン

押すと入力したネームが登録されます。

文字ボタン

押すごとにボタンの上に表示してある文字が切り替わり表示されます。

※「ア」カナ文字の入力ボタン

①	ア行
②	カ行
③	サ行
④	タ行
⑤	ナ行
⑥	ハ行
⑦	マ行
⑧	ヤ行
⑨	ラ行
⑩	ワ行/ン

例 「A」英大文字では②ボタンを押すごとに

→ A ▶ B ▶ C

「ア」カナ文字では①ボタンを押すごとに

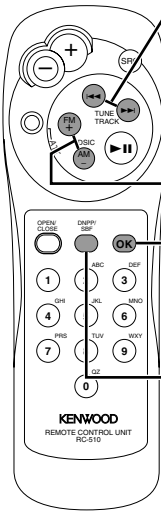
→ ア▶ア▶イ▶イ▶ウ▶ウ▶エ▶エ▶オ▶オ

上記のように文字が選択できます。

◆ MEMO ◆

数字、記号は文字ボタンでは入力できません。FM+ボタンまたはAM-ボタンで選択してください。

SBF mode -ステーションネーム/ディスクネームで選ぶ-



◀◀/▶▶ ボタン

チューナーモード中のネーム表示を、◀◀ボタンを押すと早戻し、▶▶ボタンを押すと早送りできます。

FM+/AM- ボタン

- チューナーモード中にFM+ボタンを押すとFMバンドに、AM-ボタンを押すとAMバンドに切り替わります。
- MD/CDチェンジャーモード中にFM+ボタンを押すと早戻し、AM-ボタンを押すと早送りできます。

OK ボタン

押すとネーム表示の放送局またはディスクを聴けます。

SBF ボタン

- チューナーモード中とCDチェンジャーモード中は、押すごとにSBFモードがオン/オフします。
- MDチェンジャーモード中は、押すごとにSBFモードが下記の順に切り替わります。

▶ 「SBF DNPS」 ▶ 「SBF Disc」 ▶ オフ

◆ MEMO ◆

ネーム表示が始まるとSBFボタンを押してもSBFモードは切り替わりません。

接続のしかた



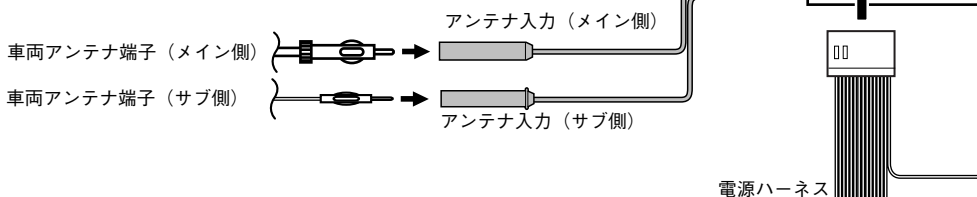
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをDPX-770MDに接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. リセットボタンを押します。

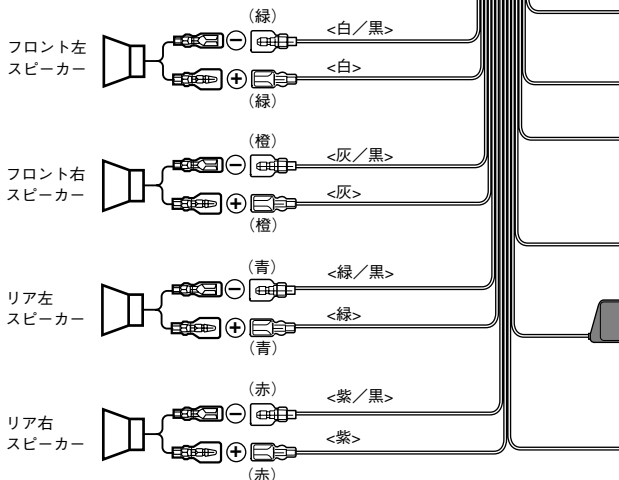
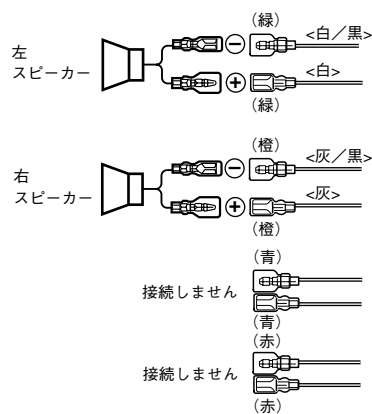
MEMO

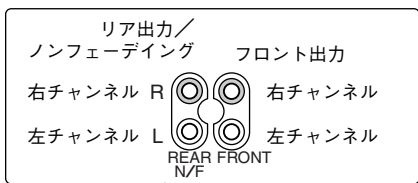
ダイバシティアンテナの接続のしかた

- ダイバシティ対応車はサブアンテナ端子を接続できます。アンテナ端子の形状が異なる場合は別売の変換コードが必要です。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。
- ダイバシティ未対応車は別売の汎用ダイバシティ変換プラグ"CA-83U"と汎用のFMアンテナを追加すると、本機のダイバシティシステムを活用することができます。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。
- FMダイバシティシステムのオン/オフは15ページをご覧ください。

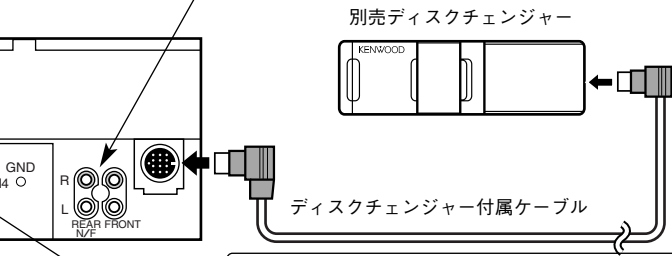


2スピーカー時のスピーカー接続方法



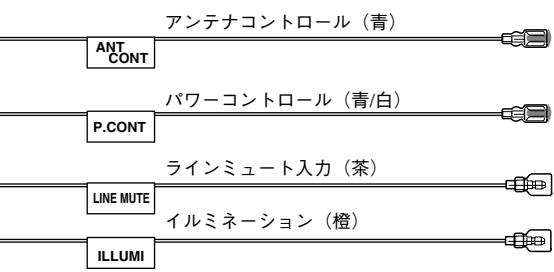


❖ MEMO ❖
 ノンフェーディング、リア出力の選択は15ページをご覧ください。

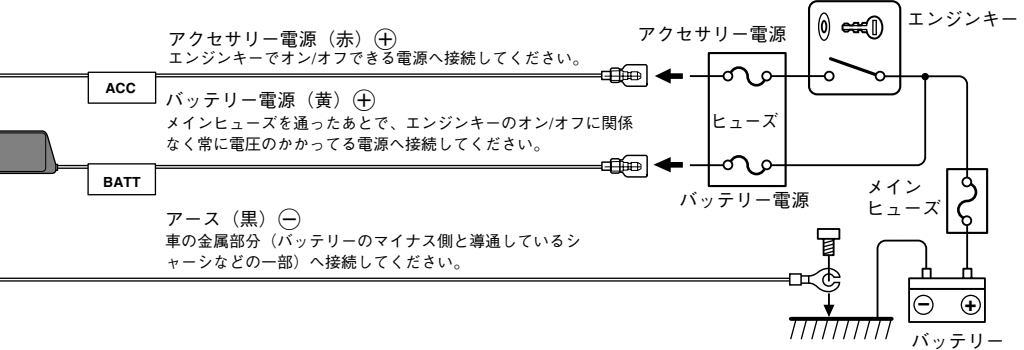


- ※ KDC-C210、KDC-C206を接続する場合は、CDチェンジャーのO-Nスイッチを“N”に設定してください。
- ※ ディスクチェンジャーを2台接続する場合は別売のKCA-S200をご使用ください。
- ※ MD6、MD66、C705i、C705srを接続する場合はCA-KD20が必要です。

注意 ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



- オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
- 別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
- ナビゲーションシステムのラインミュート端子に接続してください。
- 車両のイルミネーション電源端子に接続してください。



- アクセサリ電源 (赤) ⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
- バッテリー電源 (黄) ⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
- アース (黒) ⊖
車の金属部分 (バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部) へ接続してください。

取り付けかた

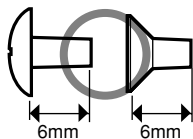
付属のネジ (M5×6mm) 6本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



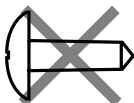
注意

- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
- 取り付け前にCDやMDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトを行ってください。



付属取付ネジ



その他のネジ

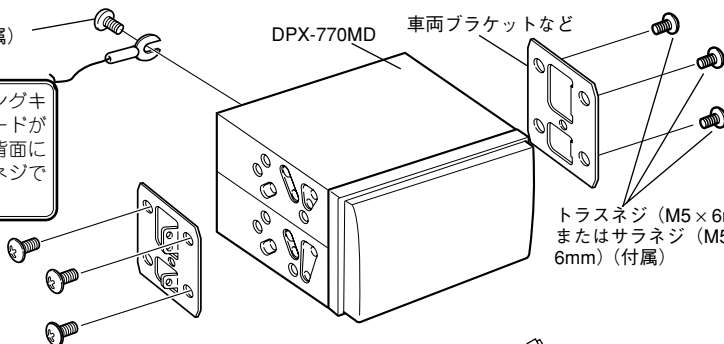


付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5×6mm)	6
	サラネジ (M5×6mm)	6
	バインドネジ (M4×8mm)	1

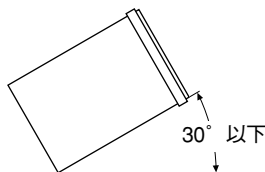
バインドネジ
(M4×8mm) (付属)

別売のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。



注意

本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき ▼	どうして ▼	こうします ▼
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • ヒューズが切れている。 • 入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> • コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。(⇨ P.47) • "接続のしかた(⇨ P.46)"を見て正しく接続してください。
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> • アッテネーターがオンになっている。 • 音量が最小になっている。 • フェダー、バランスが片側に片寄せた設定になっている。 • スピーカーコードが間違っ て接続されている。 • ラインミュート端子が間違っ て配線されている。 • 結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンのアッテネーターを解除してください。 • 音量を適度に上げてください。 • フェダー、バランスを調整してください。 • "接続のしかた(⇨ P.46)"を見て正しく接続してください。 • "接続のしかた(⇨ P.46)"を見て正しく接続してください。 • しばらく、放置してから使用してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 ⇨ P.9
MDやCDが入らない	<ul style="list-style-type: none"> • すでにMDやCDが入っている。 • MDやCDのメカが誤動作している。 	<ul style="list-style-type: none"> • すでに入っているMDやCDを取り出してから入れてください。 • ▲MDボタンまたはCD EJECTボタンを3秒以上押しMDやCDを取り出してから入れてください。
MDを入れてもMD モードにならない	<ul style="list-style-type: none"> • 演奏しようとしたMDに何も記録されていない。 • MDメカが誤動作している。 	<ul style="list-style-type: none"> • イジェクトボタンを押して、記録されているMDと入れ替えてください。 • ▲MDボタンを3秒以上押しMDを取り出してから入れてください。
CDを入れても再生しないまたは、CDモードにならない	<ul style="list-style-type: none"> • CDが裏返しになっている。 • CDが異常に汚れている。 • 結露している。 • CDメカが誤動作している。 	<ul style="list-style-type: none"> • ラベル面を上にして入れなおしてください。 • "CDのお手入れ"を見てクリーニングしてみてください。 • しばらく、放置してから使用してください。 • CD EJECTボタンを3秒以上押しCDを取り出してから入れてください。
音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> • 取り付け角度が30°を越えている。 • 取り付けが不安定になっている。 • MDやCDに傷や汚れなどがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 30°以内の角度に調整してください。 • しっかりと固定してください。 • 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、MDやCDの問題です。(CDは"CDのお手入れ"⇨ P.10を参考)
音質が悪い(再生中ノイズが出る)	<ul style="list-style-type: none"> • MDやCD自身の音質。 • MDやCDに傷や汚れなどがついている。 	他のMDやCDを再生して問題がなければMDやCD自身の音質です。(CDは"CDのお手入れ"⇨ P.10を参考)
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイモードを解除してください。

故障かな？と思ったら

こんなとき	どうして	こうします
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車のアンテナが伸びていない。 • アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナを十分伸ばしてください。 • “接続のしかた(⇨ P.46)”を見てアンテナコントロール電源を接続してください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> • 音量が大きすぎる。 • スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 • スピーカーの配線が間違っている。 • 車内の温度が高温のため、本機内部の温度が60℃を越えて保護回路が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 適正音量で使用してください。 • スピーカー配線をチェックしてください。 • スピーカー出力端子とスピーカー入力端子間を正しく配線してください。 • ボリュームを下げて車内の温度が下がるまでしばらくお待ちください。本機内部の温度が下がると正常な状態に戻ります。
エンジンキーをオフにすると、メモリー内容が消えてしまう	バッテリー電源が所定の場所に接続されていない。	“接続のしかた(⇨ P.46)”を見て正しく接続してください。
DSP効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> • 2スピーカーシステムになっている。 • フロント出力とリア出力が逆に接続されている。 • スピーカーの右と左が逆に接続されている。 • スピーカーの⊕と⊖が逆に接続されている。 • フェーダー、バランスの調整が片側に片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • フロント、リアの4スピーカーシステムにしてください。 • “接続のしかた(⇨ P.46)”を見て正しく接続してください。 • “接続のしかた(⇨ P.46)”を見て正しく接続してください。 • “接続のしかた(⇨ P.46)”を見て正しく接続してください。 • フェーダー、バランスをセンターに設定してください。

●ディスクチェンジャー(別売)を接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
ディスクチェンジャーモードにならない	本機のチェンジャー入力が接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	本機のリセットボタンを押してください。
指定したディスクが演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクが異常に汚れている。 • ディスクが裏返しになっている。 • ディスクが2枚同じ場所に入っている。 • ディスクの入れた場所と指定 No.が違う。 • ディスクに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクのクリーニングをしてください。 • マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 • マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 • マガジンをイジェクトして指定ディスクの No.を確認してください。 • 他のディスクを使用してください。
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> • 音量が最小になっている。 • アッテネーターがオンになっている。 • マイコンが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 音量を適度に上げてください。 • リモコンでアッテネーターを解除してください。 • 本機のリセットボタンを押してください。
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。

●以下の表示でシステムの状態をお知らせします。

EJECT : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

No Disc : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

No Changer : 別売のKCA-S200のCH1またはCH2端子にディスクチェンジャーが接続されていない。

Error 04 : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。

Error 77 : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Mecha Error : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Mecha Error"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HOLD : 本機のMDプレイヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

No Name : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。

No Title : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

No Text : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

No Track : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→次のMDを自動的に演奏します。

Blank Disc : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→次のMDを自動的に演奏します。

Error 12 : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。



Ⓢ IN : MDプレイヤーが正常に動作していない。
→MDを入れなおしてください。



Ⓢ IN : CDプレイヤーが正常に動作していない。
→CDを入れなおしてください。

MDやCDが取り出せない、またはMDやCDを正しく入れなおしてもインジケーターが点滅したままの場合は、本機の電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

●本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)

●製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

●**技術料**: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

●**部品代**: 修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
実用感度 (S/N:30 dB)
S/N 50 dB感度
周波数特性 (±3.0 dB)
S/N比 (dB)
選択度 (±400 kHz)
ステレオセパレーション

76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
30 Hz~15 kHz
75 dB (MONO)
80 dB以上
40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
感度

522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
28 dB μ

MDプレイヤー部

レーザー
コーディング
デジタルフィルター
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高周波歪率
S/N比 (dB)
ダイナミックレンジ
チャンネルセパレーション

GaAlAs (ダブルヘテロダイオード,
 $\lambda=780$ nm)
アダプティブトランスフォーム
アコースティックコーディング(ATRAC)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
800~400 rpm (線速度一定)
測定限界以下
20 Hz~20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
90 dB (1 kHz)
90 dB
80 dB

CDプレイヤー部

レーザー
デジタルフィルター
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高周波歪率
S/N比 (dB)
ダイナミックレンジ
チャンネルセパレーション

GaAlAs (ダブルヘテロダイオード,
 $\lambda=780$ nm)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
500~200 rpm (線速度一定)
測定限界以下
10 Hz~20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
93 dB (1 kHz)
93 dB
85 dB

DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター
D/Aコンバーター
イコライザー中心周波数(Hz)
可変範囲

エンハンスト・デュアルビット
4次 $\Delta\Sigma$ 方式 20 bit
64倍オーバーサンプリング
4次 $\Delta\Sigma$ 方式 20 bit
128倍オーバーサンプリング
60, 120, 250, 500,
1k, 2k, 4k, 8k, 16k
-9 ~ +9 dB

仕様一覧

オーディオ部

最大出力	40W×4
定格出力	25W×4 (4Ω, 30 Hz～20 kHz, 1%THD)
プリアウトレベル	1500 mV/10KΩ
プリアウトインピーダンス	600Ω以下

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W×H×D)	178×100×155 mm
質量 (重さ)	3.0 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5×6mm)	6本
サラネジ (M5×6mm)	6本
バインドネジ (M4×8mm)	1本
リモコン	1個
乾電池 (単四型)	2本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。